



平成19年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社ソディックプラステック
代表者名 代表取締役社長 藤川 操
(JASDAQ・コード6401)
問合せ先
役職・氏名 執行役員(経理部長) 吉岡洋二郎
TEL 045-478-1880

平成20年3月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成19年5月15日付「平成19年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成20年3月期の連結中間業績予想、(参考)平成20年3月期の個別中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期の連結中間業績予想の修正(平成19年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想(A)	6,100	240	200	120
今回修正(B)	5,900	△5	△50	△30
増減額(B-A)	△200	△245	△250	△150
増減率	△3.3%	—	—	—

2. 平成20年3月期の個別中間業績予想の修正(平成19年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想(A)	6,000	240	200	120
今回修正(B)	5,800	△10	△40	△20
増減額(B-A)	△200	△250	△240	△140
増減率	△3.3%	—	—	—

3. 修正理由

連結中間業績につきましては、射出成形機部門の国内売上は電子精密部品業界向けなど、比較的堅調に推移しましたが、海外売上ではアジア地区において、台湾など受注が回復に伴い販売が増加した地区がある一方、他方で韓国向けなど受注の落ち込みにより販売が低迷した地区もみられました。また、特機部門におきましては、液晶製造関連業界の設備投資需要の大幅な減少に伴い、検査装置向けなどの精密ステージの販売が減少いたしました。これにより売上高は 5,900 百万円（当初予想比 200 百万円の減少）となる見込みです。

利益面におきましては、売上高の減少に伴い粗利益が減少したこと、また設備投資による減価償却費や無償サービス費等の増加により、また営業外費用として借入金の増加に伴う支払利息の増加など費用面の増加が著しく、このため営業利益は△5 百万円（当初予想比 245 百万円の減少）、経常利益は△50 百万円（当初予想比 250 百万円の減少）となる見込みです。

また、当期中間純利益につきましては、△30 百万円（当初予想比 150 百万円の減少）と見込まれることから、前回予想を修正するものであります。

個別業績につきましては、上述の連結中間業績の理由により売上高は 5,800 百万円（当初予想比 200 百万円の減少）となる見込みです。また、利益面におきましては営業利益△10 百万円（当初予想比 250 百万円の減少）、経常利益△40 百万円（当初予想比 240 百万円の減少）、当期中間純利益△20 百万円（当初予想比 140 百万円の減少）となる見込まれることから、前回予想を修正するものであります。

尚、通期業績予想につきましては、現在、算定中であり、中間決算発表時（平成19年11月15日予定）に公表する予定であります。

（注）今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上